

(衛生局)

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

				所管部局	衛生局				
				評価区分	途中評価	所管課(室)	衛生業務課		
				実施区域	南有馬町	担当班	衛生総務班		
予算事業番号	12500	予算事業名	南有馬やすらぎ苑費						
個別事業名	02 南有馬やすらぎ苑火葬施設補修事業		事業主体	南島原市					
事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 未定 年度 (未定年間)								
総合計画	基本柱	7.基盤整備					根拠計画	-	
	政策	2.生活環境の充実					重点プロジェクト	←選択不要	
	施策	1.良好な住環境づくり					戦略該当	←選択不要	
	施策細分	7-2-1-⑤火葬場等生活環境施設の整備							
事業の概要	<p>○南有馬やすらぎ苑の建物・火葬炉3基(大型炉)等で年間保守点検を実施し、その中で指摘された交換部品及び修理箇所が必要な部分の工事を実施し火葬場を利用する住民に支障がないようにする。</p> <p>誘引排風機更新工事 集塵機室補修工事 火葬炉耐火物補修工事 キュービクル更新工事</p>				次年度 事業の内容	<p>事業概要と同じ(保守点検内容により工事箇所決定) 高圧の電気設備で機器で更新推奨時期を超えた機器があるため改修工事を計画する。 令和6年度 設計業務 / 令和7年度 本工事</p>			
					前年度からの変更	前年度からの変更なし			
事業費	区分		全体計画	令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度(本年度)		
	事業費 (千円)			120,761	38,409	3,047	3,575	当初予算額	決算見込み額
	財源内訳	補助金等の名称	補助率						
	国庫支出金			0					
	県支出金			0					
	地方債			0					
	その他特財			0					
	一般財源			120,761	38,409	3,047	3,575	8,330	8,330
	年度別事業内容(事業量)			南有馬やすらぎ苑(火葬施設)の火葬設備機器関係の修理工事	1号炉煙道補修 シーケンサ及び タッチパネル取替 冷却ファン取替 1号炉誘引排風機取替 1.2.3号炉炉圧ダンパー取替 トイレ等改修	1号炉再燃焼室耐火物補修 2号炉再燃焼室耐火物補修	3号炉耐火台車補修	誘引排風機更新 集塵機室補修 主然室耐火物補修	誘引排風機更新 集塵機室補修 主然室耐火物補修
	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
年度別事業内容(事業量)			1号炉耐火台車補修 再燃焼室耐火物補修	3号炉耐火物、耐火台車補修 3号炉誘引排風機補修 排ガス煙道補修 燃料移送ポンプ更新 高圧受変電盤更新工事設計業務	火葬炉耐火物等補修等 高圧受変電盤更新工事	火葬炉耐火物等補修等	火葬炉耐火物等補修等	火葬炉耐火物等補修等	

整理番号	801	-	1	個別事業名	南有馬やすらぎ苑火葬施設補修事業					事業区分	普通建設事業	
事業の数値目標	活動指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	活動比率	活動状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
		-	-	-	-							
		年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		区分	目標値									
		実績値										
	年次達成率				変更前の目標値(変更理由)							
	成果指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
		-	-	-	-							
		年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		区分	目標値									
実績値												
年次達成率				変更前の目標値(変更理由)								
途中評価	観 点		担 当 課 評 価		判 定	左 記 の 評 価 の 理 由 な ど						
	必要性	(1) 市民ニーズや行政経営に照らして、事業の必要性があるか。	a.必要がある		A	火葬施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。						
		(2) 目的達成のための手法は、事業を取りまく環境や経済情勢などの変化に適応しているか。	a.適応している			年間保守点検を行い、緊急度の優先順位など必要な整備計画をたて、故障を未然に防ぐよう行う方法が最も適当である。						
	効率性	(3) より少ない労力(業務量)や費用で目的を達成できる手法に代えられないか。	a.代えられない		A	今現在の施設整備の方法が市として最も事務量が少ない方法である。						
		(4) 目的を達成するため、市民や関係団体等の協力または市民協働は得られているか。	a.得られている			市内各葬儀社の協力が得られている。						
	有効性	(5) 有効性を高めるため、市民や関係団体等との連携を図る余地はないか。	a.余地はない		A	-						
		(6) 有効性をさらに拡大させる(対象や受益者などを増やす)余地はないか。	a.余地はない			-						
	そ の 他 の 観 点											
	事業実施に係る影響・課題等	事業を廃止した場合(新規の場合は実施しなかった場合)の影響										
		火葬炉が故障し火葬ができなくなる。										
課題		今後、老朽化に伴い補修箇所が増大が予想される。										
解決策	予算の拡充を行い、計画的に工事を行う。											
次年度に向けた方向性	一次評価 (所管課における今後の方針など)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
		火葬施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。今後は、火葬設備のみではなく建屋の改修等の検討も必要になってくると思われる。										
	二次評価 (計画性の総合評価と方針決定)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
一次評価のとおりとする。 なお、令和5年度当初予算要求にあたっては、必要額を精査すること。												
備 考												

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

※し尿処理手数料コンビニ収納のみ

所管部局	衛生局
所管課(室)	衛生業務課
担当班	衛生総務班

予算事業番号	12600	予算事業名	清掃総務費	評価区分	事前評価	担当班	衛生総務班
総合計画	基本柱	7.基盤整備		予算科目	会計区分	1 一般会計	
	政策	2.生活環境の充実			款(名称)	4 衛生費	
	施策	4.生活排水の処理			項(名称)	2 清掃費	
	施策細分	7-2-4-③健全経営の推進			目(名称)	1 清掃総務費	
重点プロジェクト	←選択不要		根拠計画等				
総合戦略該当	←選択不要						

予算事業の概要	<p>【課題及びその解決策】</p> <p>①課題・背景 現在、し尿処理手数料の納付方法は、「納付書」及び「口座振替」の2種類である。市民のライフスタイルの多様化により、役所や金融機関で営業時間内に納付することが困難な方が多い。また、浄化槽保守点検手数料や浄化槽清掃手数料はすでにコンビニ収納になっていることから、し尿処理手数料へのコンビニ収納や電子決済はできないのかとの声も上がりはじめています。</p> <p>②解決策 し尿処理手数料に「コンビニ収納」を導入することで、市民へのサービス向上はもとより、未収金の減少につながる事が期待できる。また、本市において実施されている「MINAコイン」への移行も今後スムーズにでき、DX化への足がかりとなる事が期待できる。 ※MINAコインに対応するために、どのような作業等あるのか、また市内の収納でMINAコインに対応可能ななど実施にむけて取りまとめ統括する必要があると思われる。</p>	<p>【予算事業の内容】</p> <p>①事業の目的 し尿処理手数料の納付方法に「コンビニ収納」を導入することで、市民の利便性の向上及び未収金の減少を図る。</p> <p>②事業の対象 し尿処理手数料納付者</p> <p>③事業の概要 コンビニ収納導入に伴い必要な「納付書」、し尿処理システム、及び金融機関の「OCR」システムの改修など。</p> <p>【参考】 令和3年度調定 34,783件 令和3年度実績 納付書による納付 : 13,449件 (38.8%) 口座振替による納付 : 21,207件 (61.2%)</p> <p>(1月あたり) 令和4年度6月分(令和4年7月22日現在) 調定2,720件 収納2,560件 未納件数160件 収納率94.1%</p> <p>コンビニ収納状況: 浄化槽保守点検手数料 15.2% 浄化槽清掃手数料 20.6%</p>
---------	--	--

区分	期間内計	令和元年度実績額	令和2年度実績額	令和3年度実績額	令和4年度(本年度)	
					当初予算額	決算見込額
予算事業費(千円)	6,000	0	0	0	0	0
人件費(報酬、給料、職員手当等、共済費など)	0					
物件費(旅費、需用費、委託料、使用料賃借料など)	6,000					
補助費等(報償費、負担金補助及び交付金など)	0					
その他(扶助費・積立金など)	0					
財源内訳	補助金等の名称	補助率				
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他特財	し尿処理手数料					
一般財源						
年度別事業内容						
区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
年度別事業内容	1.システム改修一式 ¥6,000,000					
特定財源の状況	し尿処理手数料、浄化槽保守点検手数料及び浄化槽清掃手数料を充てる					

活動指標名										指標の単位
指標の根拠(説明)										
基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった/なっている要因等)						
		-	-							
区分	年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値									
	実績値									
	年次達成率				変更前の目標値(変更理由)					

整理番号		801 - 2		予算事業名		清掃総務費		事業区分		ソフト事業	
番号	個別事業名	個別事業数	令和4年度		令和5年度 計画額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	令和10年度 計画額	
			当初予算	決算見込額							
予算事業を構成する個別事業	01	し尿処理手数料コンビニ収納導入事業	1								
	事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 5 年度									
	事業概要	コンビニ収納導入に伴うシステム改修			実施機関 評価	新規	評価の 理由	市民の利便性の向上及び未収金の減少を図る。			
	事業期間	令和 年度 ~ 令和 年度									
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由				
	事業期間	令和 年度 ~ 令和 年度									
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由				
	事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度									
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由				
	事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度									
事業概要				実施機関 評価		評価の 理由					
予算事業における 次年度に向けた 方向性	所管課における 方向性 (自己評価)	<input type="radio"/>	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)	D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)	E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	他の公共料金と同様、納付者の利便性向上と公共料金支払いの電子化推進において、重要な事業である。			
	総合評価 (市長評価)	<input type="radio"/>	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)	D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)	E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	支払いの選択肢を幅を広げることで市民の利便性向上を図るとともに、し尿処理事務の効率化をはかるため、本事業を令和5年度実施することとする。			

【添付資料】

整理番号		802 - 3		予算事業名		清掃総務費		事業区分		ソフト事業		
番号	個別事業名	個別事業数	令和4年度		令和5年度 計画額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	令和10年度 計画額		
			当初予算	決算見込額								
予算事業を構成する個別事業	01	し尿処理等管理システム構築	1									
	事業期間	令和 5 年度 ~ 令和 5 年度										
	事業概要	R5年度にシステムを構築し手作業を省略し効率の良い作業環境を整えることで職員の人員不足等を補う。			実施機関 評価	新規	評価の 理由	効率の良い作業環境を整えるため。				
	事業期間	令和 年度 ~ 令和 年度										
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由					
	事業期間	令和 年度 ~ 令和 年度										
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由					
	事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度										
	事業概要				実施機関 評価		評価の 理由					
	事業期間	平成 年度 ~ 令和 年度										
事業概要				実施機関 評価		評価の 理由						
予算事業における 次年度に向けた 方向性	所管課における 方向性 (自己評価)	<input type="radio"/>	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)	D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)	E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	現在の手作業での方法をシステム化することにより一元管理及び集約管理することができ、作業の効率化を図ることができる。 現在、情報政策班とも協議を行い内部でシステムを構築できないか検証中				
	総合評価 (市長評価)	<input type="radio"/>	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)	D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)	E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	支払いの選択肢を幅を広げることで市民の利便性向上を図るとともに、し尿処理事務の効率化をはかるため、本事業を令和5年度実施することとする。 なお、より利便性の高いシステムの導入を進めるため、必要に応じて防災課と協議を行うこと。その結果、導入が遅れることもやむを得ないこととする。				

【添付資料】

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

所管部局	衛生局
所管課(室)	衛生業務課
担当班	衛生総務班

予算事業番号	12602	予算事業名	し尿収集事業費	評価区分	事前評価	担当班	衛生総務班
総合計画	基本柱	7.基盤整備		予算科目	会計区分	1 一般会計	
	政策	2.生活環境の充実			款(名称)	4 衛生費	
	施策	4.生活排水の処理			項(名称)	2 清掃費	
	施策細分	7-2-4-①適正な排水処理(衛生センター)			目(名称)	1 清掃総務費	
重点プロジェクト	←選択不要		根拠計画等				
総合戦略該当	←選択不要						

予算事業の概要	【課題及びその解決策】	【予算事業の内容】
	<p>①課題・背景 現在、し尿処理業務を深江衛生センターと南有馬衛生センターの2施設で運営を行っているが、深江衛生センターの老朽化が著しく早急な対策が必要である。</p> <p>②解決策 南有馬衛生センターを令和3年度からリニューアルし能力も130kl/日と増大させた為、深江衛生センターのし尿等の受け入れも可能になっていることから、深江衛生センターでのし尿処理を行わず、中継基地として運用し10tのバキューム車を使用して深江衛生センターのし尿等を南有馬衛生センターへ運搬する。</p>	<p>①事業の目的 10tバキューム車を購入し、深江衛生センターのし尿等を南有馬衛生センターへ運搬することにより、深江衛生センターでの処理経費(毎年約58,000千円)が抑えられる。また、衛生局内の人員不足も深江衛生センターの職員を統合することにより解消される。</p> <p>②事業の対象</p> <p>③事業の概要 10tバキューム車を購入し深江衛生センターのし尿等を南有馬衛生センターへ運搬する。</p>

区分	期間内計	令和元年度実績額	令和2年度実績額	令和3年度実績額	令和4年度(本年度)	
					当初予算額	決算見込額
予算事業費(千円)	248,856	16,554	26,051	29,283	30,768	29,968
人件費(報酬、給料、職員手当等、共済費など)	0					
物件費(旅費、需用費、委託料、使用料賃借料など)	248,856	16,554	26,051	29,283	30,768	29,968
補助費等(報償費、負担金補助及び交付金など)	0					
その他(扶助費・積立金など)	0					
財源内訳	補助金等の名称	補助率				
国庫支出金						
県支出金						
地方債	合併特例債		9800	9,900	9,800	9,800
その他特財	し尿処理手数料		184,891	16,554	17,468	18,618
一般財源			8,865	0	1,915	2,350
年度別事業内容						
区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
年度別事業内容	10tバキューム車購入					
特定財源の状況						

予算事業の数値目標	活動指標名	購入台数				指標の単位	台		
	指標の根拠(説明)	-							
	基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった/なっている要因等)				
		R05	1	0.0%	令和5年度新規事業の為現段階での成果はない。				
	年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
区分	目標値				1				
	実績値								
	年次達成率				変更前の目標値(変更理由)				

整理番号		801 - 4		予算事業名		し尿収集事業費		事業区分		ハード事業	
番号	個別事業名	個別事業数	令和4年度		令和5年度 計画額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	令和10年度 計画額	
			当初予算	決算見込額							
予算事業を構成する個別事業	01	し尿収集事業維持管理	1	18,618	18,618						
		事業期間: 令和 年度 ~ 令和 年度									
		事業概要: し尿収集に要する燃料、修理、車検等の経費				実施機関 評価	継続	評価の 理由	今後も事業継続していくため。		
	02	し尿処理収集車更新事業		12,150	11,350						
		事業期間: 令和 2 年度 ~ 令和 4 年度									
		事業概要: 南有馬衛生センターのし尿収集に支障が生じないよう、老朽化又は修理が困難な車両の定期的な買い替えを行う				実施機関 評価	今年度完了 見込	評価の 理由	対象車両の入替が完了したため。		
	03	し尿処理収集(10t)車更新事業									
		事業期間: 令和 5 年度 ~ 令和 5 年度									
		事業概要: 10tのバキューム車を使用して深江衛生センターのし尿等を南有馬衛生センターへ運搬する。				実施機関 評価	新規	評価の 理由	施設統廃合を行う上で必要な事業であるため。		
		事業期間: 平成 年度 ~ 令和 年度									
		事業概要:				実施機関 評価		評価の 理由			
		事業期間: 平成 年度 ~ 令和 年度									
	事業概要:				実施機関 評価		評価の 理由				
	事業期間: 平成 年度 ~ 令和 年度										
	事業概要:				実施機関 評価		評価の 理由				
予算事業における次年度に向けた方向性	所管課における方向性 (自己評価)	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	○	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)		D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)		E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	深江衛生センターの施設を統廃合する為に必要な車両である。 現在、車両の発注から納車までに1年半から2年程度かかる見込みである。	
	総合評価 (市長評価)	A. 新規 (予算事業の新設)	B. 継続実施 (全体として現状維持)	○	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)		D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)		E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)	所管課における方向性のとおりとする。 但し、地方債財源については財政課との協議を要する。	

【添付資料】

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

				所 管 部 局		衛生局			
				評 価 区 分		途中評価			
				実 施 区 域		所 管 課 (室)			
				南有馬町		担 当 班			
				南島原市		焼却班			
予算事業番号	12610	予算事業名	ごみ処理施設等整備事業費						
個別事業名	01	ごみ処理施設維持補修事業		事業主体	南島原市				
事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 7 年度 (未定年間)								
総合計画	基本柱	7.基盤整備							
	政策	-							
	施策	-							
	施策細分	-							
事業の概要	事業概要			次年度	事業概要と同じ(保守点検内容により工事箇所決定)				
	<p>○南有馬クリーンセンターで年間保守点検を実施し、その中で指摘された箇所の工事を実施しごみ処理施設場を利用する住民に支障がないようにする。</p> <p>○令和8年度から県央県南広域環境組合に加入する。令和8年度以降施設の解体等の検討を行う必要がある。</p> <p>炉内耐火物補修工事 押込送風機補修工事 焼却炉用油圧ユニット補修工事 クレーン補修工事</p>			前年度からの変更	前年度からの変更なし				
事業費	区分		全体計画	令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度(本年度)		
	事業費 (千円)		1,330,986	169,180	172,920	285,340	170,737	170,737	
	財源内訳	補助金等の名称	補助率						
	国庫支出金			0					
	県支出金			0					
	地方債			0					
	その他特財			0					
	一般財源			1,330,986	169,180	172,920	285,340	170,737	
	年度別事業内容(事業量)			南有馬クリーンセンターの焼却設備機器関係及び施設に付随する設備の補修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事 溶融炉廃止に伴う改修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事 空気予熱器更新工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事
	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
年度別事業内容(事業量)			クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事	クレーン・コンプレッサ補修工事 焼却炉補修工事				

整理番号	801	-	5	個別事業名	ごみ処理施設維持補修事業					事業区分	普通建設事業	
事業の数値目標	活動指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	活動比率	活動状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
		-	-	-	-							
		区分	年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			目標値									
	実績値											
	年次達成率											
	成果指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
		-	-	-	-							
区分		年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		目標値										
	実績値											
	年次達成率											
途中評価	観 点		担 当 課 評 価		判 定	左 記 の 評 価 の 理 由 な ど						
	必要性	(1) 市民ニーズや行政経営に照らして、事業の必要性があるか。	a.必要がある		A	ごみ焼却施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。						
		(2) 目的達成のための手法は、事業を取りまく環境や経済情勢などの変化に適応しているか。	a.適応している			年間保守点検を行い、緊急度の優先順位など必要な整備計画をたて、故障を未然に防ぐよう行う方法が最も適当である。						
	効率性	(3) より少ない労力(業務量)や費用で目的を達成できる手法に代えられないか。	a.代えられない		A	今現在の施設整備の方法が市として最も事務量が少ない方法である。						
		(4) 目的を達成するため、市民や関係団体等の協力または市民協働は得られているか。	a.得られている			持込ごみの分別など住民の協力が得られている。						
	有効性	(5) 有効性を高めるため、市民や関係団体等との連携を図る余地はないか。	a.余地はない		A	-						
		(6) 有効性をさらに拡大させる(対象や受益者などを増やす)余地はないか。	a.余地はない			-						
	そ の 他 の 観 点											
	事業実施に係る影響・課題等	事業を廃止した場合(新規の場合は実施しなかった場合)の影響										
		ごみ焼却施設が故障しごみ処理ができなくなる。										
課題		今後、老朽化に伴い補修箇所が増大が予想される。										
解決策	予算の拡充を行い、計画的に工事を行う。											
次年度に向けた方向性	一次評価 (所管課における今後の方針など)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
		ごみ焼却施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。令和8年度から県央広域環境組合へ加入することで焼却施設の廃止予定。										
	二次評価 (計画性の総合評価と方針決定)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
一次評価のとおりとする。 なお、令和5年度当初予算要求にあたっては、必要額を精査すること。												
備 考												

整理番号		801 - 6		予算事業名				南有馬衛生センター費		事業区分		ソフト事業	
番号	個別事業名	個別事業数	令和4年度		令和5年度 計画額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和10年度 計画額	令和10年度 計画額	
			当初予算	決算見込額									
予算事業を構成する個別事業	01	南有馬衛生センター維持管理事業	1	63,116	63,116								
		事業期間: 平成 年度 ~ 令和 未定 年度											
		事業概要: し尿処理に要する薬品、修繕料、手数料、委託料等の経費				実施機関 評価	継続	評価の 理由	し尿収集等を行う上で必要な経費である。				
	02	助燃剤運搬車購入											
		事業期間: 令和 5 年度 ~ 令和 5 年度											
		事業概要: R5年度に車両を購入し確実に助燃剤の運搬を行う。				実施機関 評価	新規	評価の 理由	助燃剤が運搬できないと施設の運転ができなくなる。				
		事業期間: 平成 年度 ~ 令和 年度											
		事業概要:				実施機関 評価		評価の 理由					
		事業期間: 平成 年度 ~ 令和 年度											
		事業概要:				実施機関 評価		評価の 理由					
予算事業における 次年度に向けた 方向性	所管課における 方向性 (自己評価)	A. 新規 (予算事業の新設)		B. 継続実施 (全体として現状維持)		○	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)		D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)		E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)		
	<p>助燃剤を運搬できなくなると、し尿処理の運転ができなくなるため、必要不可欠である。 現在、車両の発注から納車まで1年程度かかる見込みである。 2tダンプでも対応可能か検討する。</p>												
総合評価 (市長評価)		A. 新規 (予算事業の新設)		B. 継続実施 (全体として現状維持)		○	C. 改善・拡充 (個別事業の新設・拡充)		D. 縮小 (個別事業の廃止・縮小)		E. 廃止 (予算事業の廃止・完了)		
	<p>必要性を認め車両導入の方向性とするが、個票記載の4t車ではなく2t車に対応可能か再度検討すること。 よって本事業の評価は「再検討」とする。</p>												

【添付資料】

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

				所 管 部 局		衛生局			
				評 価 区 分		途中評価			
				実 施 区 域		所 管 課 (室)			
予算事業番号	12501	予算事業名	布津桜苑費	南有馬町	担当班	衛生業務課 深江施設班			
個別事業名	02 布津桜苑火葬施設補修工事		事業主体	南島原市					
事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 未定 年度 (未定年間)								
総合計画	基本柱	7.基盤整備							
	政策	2.生活環境の充実							
	施策	1.良好な住環境づくり							
	施策細分	7-2-1-⑤火葬場等生活環境施設の整備							
				算科目	会計区分	1 一般会計			
					款(名称)	4 衛生費			
					項(名称)	1 保健衛生費			
					目(名称)	7 火葬場費			
				根拠計画	-				
				重点プロジェクト	←選択不要				
				戦略該当	←選択不要				
事業の概要	○布津桜苑(火葬施設)の火葬設備機器関係の修理工事に要する経費 布津桜苑の建物・火葬炉2基等で年間保守点検を実施し、その中で指摘された交換部品及び修理箇所が必要な部分の工事を実施する。			次年度 事業の内容	・火葬炉設備については前年度から変更なし ・高圧の電気設備で機器で更新推奨時期を超えた機器があるため改修工事を計画する。 令和5年度 設計業務 / 令和6年度 本工事 (電気設備保安業務委託業者より指摘あり) ・空調設備が竣工より25年経過しており故障した場合施設利用者に迷惑をかけるため更新工事を計画する。 令和5年度 設計業務 / 令和6年度 本工事				
	火葬炉耐火物補修工事 誘引排風機更新工事 施設に付随する設備の改修工事			前年度からの変更	前年度から変更なし				
事業費	区分		全体計画	令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	令和4年度(本年度)		
	事業費 (千円)			115,385	19,391	4,180	3,905	7,609	7,609
	財源内訳	補助金等の名称	補助率						
	国庫支出金			0					
	県支出金			0					
	地方債			0					
	その他特財			0					
	一般財源			115,385	19,391	4,180	3,905	7,609	7,609
	年度別事業内容(事業量)			布津桜苑の火葬設備機器関係及び施設に付随する設備の補修工事	・高圧受電設備更新 ・待合棟ロールスクリーン取付 ・火葬炉施設修理 ・3号炉圧制御コントローラ取替 ・桜苑給水管布設 ・トイレ天井裏雨漏り改修 ・待合棟床タイルカーペット張替	2号炉再燃焼室・渦流火導孔補修	3号炉再燃焼室・渦流火導孔補修	3号炉バイパスダクト取替調整 2号炉耐火台車取替調整 給水加圧ポンプ取替工事	
	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
年度別事業内容(事業量)			燃焼室・渦流火導孔・耐火台車補修 電気設備機器入替工事 設計業務委託 空調設備更新工事 設計業務委託	火葬炉耐火物補修等 電気設備機器入替工事 空調設備更新工事 空調設備更新工事 設計監理業務委託	火葬炉耐火物補修等	火葬炉耐火物補修等	火葬炉耐火物補修等	火葬炉耐火物補修等	

整理番号	801	-	7	個別事業名	布津桜苑火葬施設補修工事					事業区分	普通建設事業	
事業の数値目標	活動指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	活動比率	活動状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
			-	-	-							
		年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		区分	目標値									
			実績値									
		年次達成率				変更前の目標値(変更理由)						
	成果指標	指標名		-							指標の単位	-
		指標の根拠(説明)		-								
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)						
			-	-	-							
		年度区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		区分	目標値									
		実績値										
	年次達成率				変更前の目標値(変更理由)							
途中評価	観 点		担 当 課 評 価		判 定	左 記 の 評 価 の 理 由 な ど						
	必要性	(1) 市民ニーズや行政経営に照らして、事業の必要性があるか。	a.必要がある		A	火葬施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。						
		(2) 目的達成のための手法は、事業を取りまく環境や経済情勢などの変化に適応しているか。	a.適応している			年間保守点検を行い、緊急度の優先順位など必要な整備計画をたて、故障を未然に防ぐよう行う方法が最も適当である。						
	効率性	(3) より少ない労力(業務量)や費用で目的を達成できる手法に代えられないか。	a.代えられない		A	今現在の施設整備の方法が市として最も事務量が少ない方法である。						
		(4) 目的を達成するため、市民や関係団体等の協力または市民協働は得られているか。	a.得られている			市内各葬儀社の協力が得られている。						
	有効性	(5) 有効性を高めるため、市民や関係団体等との連携を図る余地はないか。	a.余地はない		A	-						
		(6) 有効性をさらに拡大させる(対象や受益者などを増やす)余地はないか。	a.余地はない			-						
	そ の 他 の 観 点											
事業実施に係る影響・課題等	事業を廃止した場合(新規の場合は実施しなかった場合)の影響											
	火葬炉が故障し火葬ができなくなる。											
	課題	今後、老朽化に伴い補修箇所が増大が予想される。										
解決策	予算の拡充を行い、計画的に工事を行う。											
次年度に向けた方向性	一次評価 (所管課における今後の方針など)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
		火葬施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。										
	二次評価 (計画性の総合評価と方針決定)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続			
一次評価のとおりとする。 なお、令和5年度当初予算要求にあたっては、必要額を精査すること。												
備 考												

令和 4 年度・政策評価調書(個票)

				所管部局	衛生局
				評価区分	途中評価
				所管課(室)	衛生業務課
予算事業番号	12621	予算事業名	深江衛生センター費	実施区域	南有馬町 担当班
個別事業名	01 深江衛生センター修理工事	事業主体	南島原市	会計区分	1 一般会計
事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 未定 年度 (未定年間)			款(名称)	4 衛生費
総合計画	基本柱	7.基盤整備		項(名称)	2 清掃費
	政策	2.生活環境の充実		目(名称)	3 尿処理費
	施策	4.生活排水の処理		根拠計画	-
	施策細分	7-2-4-①適正な排水処理(衛生センター)		重点プロジェクト	←選択不要
				戦略該当	←選択不要

事業の概要	<p>○深江衛生センターの設備定期補修工事に要する経費</p> <p>経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事を行うことで、設備の性能の維持確保及び安定稼働を計ることを目的とする。</p> <p>ただし、令和5年度から南有馬衛生センターへ統廃合可能な場合は、令和5年度からの事業はなくなる。</p>	<p>次年度</p> <p>事業の内容</p> <p>事業概要と同じ</p>
		<p>前年度からの変更</p> <p>前年度からの変更なし</p>

区分	全体計画		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(本年度)		
	事業費 (千円)					当初予算額	決算見込み額	
事業費	財源内訳	補助金等の名称	補助率	68,262	6,413	15,429	2,420	2,420
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	地方債			0				
	その他特財			0				
	一般財源			68,262	0	6,413	2,420	2,420
事業費	年度別事業内容(事業量)		深江衛生センター設備の定期補修工事	施設設備改修工事	深江衛生センターの前処理機設備の定期補修工事 3,839千円 送風機設備機器関係の定期補修工事 2,574千円	深江衛生センターのI2循環設備の定期補修工事 10,160千円 データロガー収録装置更新工事 4,290千円 センターブロック掘改修工事979千円	消泡機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事 2,420千円	
	年度別事業内容(事業量)		脱有機機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替送風機設備機器関係の定期補修工事	前処理機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事	消泡機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事	脱有機機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替送風機設備機器関係の定期補修工事	I2循環ポンプの経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事	前処理機設備の経年劣化及び摩耗による消耗品の取替工事
	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	

整理番号	801	-	8	個別事業名	深江衛生センター修理工事					事業区分	普通建設事業		
事業の数値目標	活動指標	指標名									指標の単位	-	
		指標の根拠(説明)											
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	活動比率	活動状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)							
			-	-	-								
		区分	年度区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			目標値										
			実績値										
	年次達成率					変更前の目標値(変更理由)							
	成果指標	指標名									指標の単位	-	
		指標の根拠(説明)											
		基準目標値(ベンチマーク)と前年度末までの達成・進展状況	目標年度	目標値	成果比率	成果状況の説明(左の状況となった、なっている要因等)							
			-	-	-								
		区分	年度区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			目標値										
実績値													
年次達成率						変更前の目標値(変更理由)							
途中評価	観 点		担 当 課 評 価		判 定	左 記 の 評 価 の 理 由 な ど							
	必要性	(1) 市民ニーズや行政経営に照らして、事業の必要性があるか。	a.必要がある		A	し尿施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。							
		(2) 目的達成のための手法は、事業を取りまく環境や経済情勢などの変化に適応しているか。	a.適応している			整備計画をたて、故障を未然に防ぐよう行う方法が最も適当である。							
	効率性	(3) より少ない労力(業務量)や費用で目的を達成できる手法に代えられないか。	a.代えられない		A	今現在の施設整備の方法が市として最も事務量が少ない方法である。							
		(4) 目的を達成するため、市民や関係団体等の協力または市民協働は得られているか。	a.得られている			許可業者の協力が得られている。							
	有効性	(5) 有効性を高めるため、市民や関係団体等との連携を図る余地はないか。	a.余地はない		A	-							
		(6) 有効性をさらに拡大させる(対象や受益者などを増やす)余地はないか。	a.余地はない			-							
	そ の 他 の 観 点												
	事業実施に係る影響・課題等	事業を廃止した場合(新規の場合は実施しなかった場合)の影響											
		故障等が起きた場合は処理施設の稼働が出来なくなり運転に支障が生じる。(し尿の受入れが出来なくなる。)											
課題		今後、老朽化に伴い補修箇所が増大が予想される。											
解決策	予算の拡充を行い、計画的に工事を行う。												
次年度に向けた方向性	一次評価 (所管課における今後の方針など)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続				
		し尿処理施設は住民にとって重要な施設であり今後も施設の維持を図る整備が必要である。 令和5年度から南有馬衛生センターへ統廃合へ向けて計画遂行中である。 もし令和5年度から統廃合ができれば令和5年度以降の事業費は必要なくなるが、投入口等の改修は必要になると思われる。											
	二次評価 (計画性の総合評価と方針決定)	必要性	A	効率性	A	有効性	A	評価区分	継続				
一次評価のとおりとする。 なお、令和5年度以降の計画額については、深江衛生センターが継続する前提に必要な経費見込額と取り扱う。													
備 考													